

農村災害ボランティアだより

【第15号：令和8年（2026年）3月発行】

【令和7年度ボランティア活動状況】

農村災害ボランティアの平常時活動として、施設管理者からの要請に基づき施設管理者に代わり施設の点検を行っています。

本年度は、道央・空知の2グループが施設管理者への意向調査に基づき点検を実施しました。点検結果については、随時、施設管理者へ報告しています。

なお、過去の点検結果については、水土里ネット北海道のホームページに掲載されていますので参照してください。 [【https://www.htochiren.jp/volunteer.html】](https://www.htochiren.jp/volunteer.html)

グループ名	活動先団体名	点検施設	活動時期	備考
道央	篠津中央土地改良区	蕨岱26線排水路	R7.10.1	23名参加
空知	苫小牧市	錦多峰排水路	R7.10.24	14名参加

道央G活動状況(篠津中央)



空知G活動状況(苫小牧市)



令和8年2月10日に
「令和7年度ボランティア活動報告会」
を開催しました。



【ボランティア等の登録状況】

令和7年度に農村災害ボランティア14名の方が新規に『農村防災・災害ボランティア活動協議会』に登録され、全道（4グループ）160名となりました。

◆『農村災害ボランティア』（4グループ）

[道央G：43名（新規加入：5名）～石狩・渡島・檜山・後志・日高]

[空知G：45名（新規加入：6名）～空知・胆振]

[道北G：38名（新規加入：2名）～上川・留萌・宗谷]

[道東G：34名（新規加入：1名）～オホーツク・十勝・釧路・根室・根室]

【農地・農業用施設における情報伝達訓練を実施】

大雨による農地・農業用施設の被害を想定した情報伝達訓練及び、査定前着工制度による応急工事実施の手続きの訓練を、令和7年8月5日（火）、7日（木）の2日間に分けて実施しました。

（参加団体：道14振興局と参加振興局管内の21市町村・7土地改良区・1JA、農村整備課が参加。）
 なお、情報伝達（関係機関⇄振興局⇄道庁）については、スムーズに行われ、概ね良好な結果となった。



情報伝達訓練実施状況

【災害復旧事業技術担当者研修会を開催】

近年、技術職員の減少に合わせて災害経験者が減少するなか、大規模な災害が発生した場合、迅速な対応が図られるよう、制度や実践的な知識を習得し、災害発生時から査定、復旧までを円滑に行うことができる技術者を育成するため、被害の報告や災害復旧事業の事務手続き等についての研修会を、令和7年6月23日（月）～24日（火）に道（振興局）・市町村・土地改良区の職員77名が参加し『令和7年度災害復旧事業技術担当者研修会』を実施しました。

また、本研修会にて農林水産省防災課災害査定官より「災害復旧事業における改良復旧の取り組みについて」の説明を受けました。



研修会 演習実施状況

【令和7年発生災害の概要】

春の営農に支障を来さぬよう順次復旧工事を進めています。

8月豪雨災 檜山振興局管内
乙部町：農地災11、施設災5



8月豪雨災 留萌振興局管内
南るもい土地改良区：施設災6



9、10月豪雨災 胆振総合振興局管内
白老町：農地災3



【発行・編集】

『農村防災・災害ボランティア活動協議会』
 水土里ネット北海道 事業部事業管理課

TEL011-221-2292 Fax 011-221-2258

E-mail : jigyou-share@htochiren.jp

『農村防災・災害連絡協議会』
 北海道農政部農村整備課（災害復旧係）

TEL011-204-5424 Fax 011-232-4128

E-mail : nosei.noson1@pref.hokkaido.lg.jp